



## 他人事から自分事への仕組づくりを

学校教育課小中一貫教育係  
嘱託指導主事 平野久美

つい先日、夏の研修会が終わったばかりのような気がするのに、見渡せばコスモス・すすき・黄金色の稲。季節の移ろいの早さを感じるこの頃です。

さて、8月8日の研修会の分科会では、「設定した時間が足りない」そんな嬉しい悲鳴が聞かれるほどの熱心な参会者の話し合いの様子がとても印象的でした。「自分はどうか考えるのか」と思考の主導権を持ち、他人事ではなく自分事として取り組むと、意欲も喜びも倍増するということを目の当たりにした思いでした。

教諭時代のこんな体験を思い出します。国語のある単元の中に数時間、個人で取り組む活動を組んだ時のことです。私は動かずに、子どもたちに自分だけで取り組むようにさせ、もしも困ったことや相談したいことがある場合は、そこで初めて子どもが自分で私の所に相談に来るよう働きかけたのです。その時の振り返りカードに書いてあった子どもたちの言葉は衝撃的でした。相談に来た子どもたちの感想には「～が分かった。」「～が出来た。」と書いてあり、これまでよく目にした、「先生に教えてもらった。」という振り返りは1つも無かったのです。まさに、自分で分かったと実感している姿に出会ったのです。

「子どもの様子を細やかに見取り、机間巡視でより多くの声掛けに励む。そんな、子どもの為に良かれと思って一生懸命やっていたことが、実はそうではない結果を生んでいた。」自分のこれまでの実践の失敗を認識した瞬間でした。子どもたちが主体的に取り組むという仕組を大切にしていけることがいかに大切かということ、遅まきですがこの時に学んだのです。子どもだけでなく、私たち大人にも同様のことが言えましょう。

本格実施の1年目も中盤に差し掛かりました。今後、実践を振り返り次年度の取組を改善・更新していくプロセスに、ぜひ、教職員一人一人が声を出し課題解決のための「アイデア募集」・「小グループ討議」等々、主体的にかかわることのできる仕組づくりを工夫して行って欲しいと思います。

十日町市には、5年ほど前から始めた「職員知恵出し会議」という素晴らしい取組があります。市の重要度・緊急度・優先度の高い政策課題について、若手職員が集中的に検討し、職員の斬新かつ柔軟な発想を市政運営に取り込む手法です。

職員の知恵と工夫を市政に。こういった取組がなされている十日町市です。学校現場でも教職員の知恵と工夫を小中一貫教育の取組に。各中学校区の職員が、自中学校区の取組について、8月8日の研修会の時のように、時間を忘れて話し合ったり知恵を出し合ったりする。想像の翼を広げ、十日町市の学校現場で、今後こういった姿が多くなることを確信する私です。

前号のつづき

## テーマ別改善の方策

つながる前号では、全体アンケートの集計結果や、参加者の小中一貫教育に関わる次年度への提言などを掲載しました。今号では、各分科会のテーマに対する意見や考察を集約して紹介します。

参加した皆様から頂いた意見は、膨大で非常に示唆に富んだ内容です。その分科会参加者だけでなく、多くの皆様から目を通していただき、今後の取組の参考にしていただきたいと思います。

授業改善に向けて、職員の意識の向上を図るにはどうしたら良いか。	
小中職員交流・情報交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長に視点を当て、共に喜びを分かち合う意識を持つ。</li> <li>・小中の違いを知る意識を持ち、理解するよう努力する。</li> </ul>
授業改善、授業交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのように教えられてきて、上の学年でどのような学習につながるのかを意識して授業をする。</li> <li>・乗り入れ授業の可能性を探る。</li> </ul>
学習規律	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を見据えた小中一貫する共通の学習ルールづくり。</li> <li>・何を教わったかだけでなく、どう教わってきたかの学習スタイルを知る。</li> </ul>
学びの系統表の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校で弱い所を分析し、小学校のどの段階を重点化していくかをチェックして授業に生かす。</li> <li>・学びの系統表を指導案に取入れ、つながりを意識した授業を実践する。</li> </ul>
これまでの学校間連携の取組を、どう見直していくか。	
目標の明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す子どもの姿を明確にし、それに向けた価値ある活動を展開する。</li> <li>・9年間を見通したビジョンをもち、計画的・段階的指導を継続する。</li> </ul>
職員の意識共有, 変革, 交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中職員が気軽に情報交換ができ、顔が分かるような関係性を築く。</li> <li>・同じ地域で子どもを育てるという強い意識と使命感を。</li> </ul>
推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統括コーディネーター、各校管理職、コーディネーターの役割明確化。</li> <li>・職員の一体感、参画意識を生む組織・システムづくり。</li> </ul>
多忙化の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目指す姿を明確にした中での、計画的な・無理なく継続できる・有意義な活動を実践することを多忙感解消の視点とする。</li> </ul>
保護者地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校だけでなく、家庭・後援会・地域・行政機関を巻き込んだ取組が効果的である。</li> </ul>
地域の教育力をどのように小中一貫教育に生かし、つなげていったら良いか。	
目標の明確化 取組の精選と重点化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や地域の子どもたちをどのようにしたいかという目指す子ども像を共有すること。</li> <li>・何を目的とするかを明確にすることが連携の基本。多くの目的を掲げず、基本的なもの・求めるものを選び、数年間のスパンで実施する。</li> </ul>
職員の意識改革、共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫の取組をするという意識ではなく、あくまでも児童生徒の成長や未来像を見据えて、大切なこと・必要なことを連携して教育する。</li> </ul>
組織・推進体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携を進めていくコーディネーター的役割の人と組織が重要。</li> <li>・地域と学校との役割分担の摺合せ、明確化、共通理解をしっかりと。</li> </ul>
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に豊かな暮らしがあることを理解させ、地域に夢と希望が持てるような連携に取り組む。</li> <li>・地域の独自性のある文化や伝統を尊重する意識を学校職員が持つ。</li> </ul>

たくさんのご意見ありがとうございました。十日町市の小中一貫教育にかける教職員の皆様の並々ならぬ意欲と熱意を感じます。ありがとうございました。

## 小中一貫教育の制度化はどうか？…国の動向

小中一貫教育の制度化の在り方について文科大臣から諮問を受け、8月29日、中教審初等中等教育分科会小中一貫教育特別部会は、初会合を開きました。この日の会議では、

- (1) 小中一貫教育の目的
- (2) 取組の成果・課題の分析
- (3) 制度設計の基本的方向性
- (4) 推進方策

「9月15日付  
日本へき地教育新聞」から

が挙げられました。これまでの経緯から次のような意見が出されました。

- ・小中一貫教育は、核家族化などの社会的変化を考えれば必然的な動きだ。
- ・単なる学制いじりではなく、幼稚園から大学までの広い枠の中で考える必要がある。
- ・制度化は、高校までを含めて多様な制度に改め、全国一律ではなく地域の状況に応じて学校制度の区切りを実施したらどうか。
- ・義務教育学校制度（仮称）の創設は、次期尚早ではないか。

中教審では9月以降、年末にかけて6回程度集中審議を重ね、答申案をまとめる予定です。

**文科省から**「小中一貫教育実態調査の結果公表について」の資料が、県教委を通じて文科省から届きました。小中一貫教育の推進状況、ねらい・方針、教育家課程の編成、推進体制、成果・課題など、県での取組、市町村での取組、学校の取組に分けてまとめられています。膨大なページ数です。各学校に配信してあります。

必要に応じて文科省のホームページもご覧ください。

## トピックス 取組紹介

### まつのやまあったか標語

松之山中学校区では、小中一貫教育「まつのやまあったか標語」の作成を通して、児童生徒の望ましい人間関係や社会性の育成に取り組んでいます。

第2回のあいさつ標語大賞を紹介します。

- ◆にっこりと えがおであいさつ  
きもちいいな （松之山小2年 M子）
- ◆ありがとう ちゃんとかえそう  
その人に （松之山小4年 K男）
- ◆こまったときは 何気ない  
やさしい言葉が うれしいよ  
（松之山小6年 S男）
- ◆さわやかな 僕等のあいさつ 届けよう  
（松之山中3年 Y男）

### 水沢中学校区

#### メディアチャレンジデー

水沢中学校区では、毎月1日を「メディアチャレンジデー」に設定して、テレビやゲームに関わる時間を減らしていけるような子どもを育てたいと取り組んでいます。

馬場小学校から、5年生の取組例をいただきましたので、紹介します。

コース名	内容	前回	今回
かめ	食事中TVを消す。	2	0
りす	9時以降ノーメディア	0	1
うさぎ	帰宅→夕食ノーメディア	4	3
ライオン	夕食→就寝ノーメディア	0	2
ウルトラ	帰宅後ノーメディア	2	0
スペシャル	その日1日ノーメディア	3	5

小学生から中学生までが同じユニークなコース名で取り組んでいること、目標の設定が多様にできること、意欲的にレベルアップできること・・・などが素晴らしいと考えます。

# 教育センターから

## 研修で授業力パワーアップ

9月には、授業力向上のために「英語科指導力養成講座」「エキスパート教員研修」を実施しました。たくさんの先生方から研修に参加していただき、日々の実践にすぐに役立つと大好評でした。

### 【英語科授業力養成講座】

9月12日（金）、川西中学校の杵淵教頭先生から中学校3年生の英語の授業を公開していただきました。4技能の関連を意識した指導、意欲的な取組を促し定着の強化を図るインタビュー活動など、日々の実践に直結する授業でした。参会の先生方からは、「多くのアイディアと視点を与えてもらった。」「学ぶ点が多くあった。私も授業で取り組んでみたい。」などの感想が寄せられました。



### 【エキスパート教員研修】

9月17日（水）、松之山中学校の丸山義則先生から中学校1年生の国語の授業を公開していただきました。立体的な読み、ジグソー

一法を用いた協同学習、ホワイトボードを活用した話し合い活動等、すぐに実践に役立つ取組を紹介していただきました。参会の先生方からは「地元の先生に学ぶいい機会だった。今後もこのような研修に参加し、授業力を高めたい。」という感想が多く寄せられました。

※ジグソー学習：誰もが発表者となることで、全員の表現力、思考力を高める有効な学習方法



## 各中学校区の取組紹介

中学校区名	9月の取組	10月の取組予定
<b>拡大中学校区</b>  統括；中条中 久保俊幸教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月は2日～4日、26日と29日の2回挨拶運動を実施しました。其々中学校3年生と1年生が、小学校に出向き、元気な声で挨拶を掛け合っていました。</li> <li>■ 2日～8日、長期休業明けの生活習慣・学習習慣の定着を図るため、家庭学習強調週間、元気生活123に取り組みました。成果について集計し、共有フォルダーに載せます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 10月21日（火）～23日（木）に挨拶運動をします。この回は、中学校2年生が行います。</li> <li>□ 中学校区内で行われる授業研は、互いに案内を出し合い、積極的に参加し協議し、学力向上への意識を高めたいと考えます。</li> </ul>
<b>南 中学校区</b>  統括；南中 影山裕一教諭	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月1日（月）小中一貫教育だより（No.3）発行。「健康と体班」通信の発行。</li> <li>■ 9月19日（金）西小6年算数の授業を公開し、研修を推進。</li> <li>■ 中学校陸上部と小学生の部活交流を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 10月上旬、一貫だより（No.4）発行</li> <li>□ 10月19日（日）川治小学校、西小学校の両校の文化祭に、中学校の吹奏楽部が参加し演奏します。※川治10時、西12時半</li> </ul>
<b>吉田中学校区</b>  統括；吉田中 川合徹人教頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 9月6日（土）吉田中学校体育祭・小中一貫種目として「追いかけて玉入れ」を実施しました。小学生と中学生が手をつないで入場行進したり、終了後に、中学生が小学生にメッセージを伝えていました。たくさんの交流が行われました。</li> <li>■ 9月18日（木）中学校体験入学（授業参加部活体験）</li> <li>■ 9月19日（金）吉田パワーアップ作戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 10月20日前後に、「小中一貫教育だより」を発行する予定です。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">                     臨床動作士・臨床心理士の織田島純子先生による講演会（小中合同保健指導）。小中混じったグループでの話し合いで、自分は〇〇してみたいというイメージが持てた。                 </div>

<p><b>下条中学校区</b></p> <p>統括；下条中 庭山敦教頭</p>	<p>■ 9月6日(土) 下条中体育祭 入場行進から小学校6年生が参加しました。まさに小中一体となった体育祭でした。</p>  <p>■ 9月16日(火) 小1・2年と中3の交流活動① 9月29日(月) 小1・2年と中3の交流活動②</p>	<p>□ 10月25日(土) 小・中文化祭 6年生が、中学校合唱コンクールで演奏します。10:25 中学3年生が、小学校文化祭で合唱します。13:30 ※会場は、共に中学校体育館です。</p>
<p><b>水沢中学校区</b></p> <p>統括；水沢小 羽鳥賢太郎教諭</p>	<p>■ 9月18日(木) 小中合同陸上練習 小学校親善陸上大会の種目に合わせて、中学生からポイントを教えてもらい一緒に動きの確認をしました。</p> <p>■ 9月15日(月)～19日(金) 元気アップ週間</p>	<p>□ 10月28日(火)～31日(金) 第2回小中あいさつ交流を実施します。 ※PTAも参加します。</p>
<p><b>川西中学校区</b></p> <p>統括；川西中 高野昭一教諭</p>	<p>■ 9月1日(月)～5日(金) 生活リズムを元に戻すためのパワーアップ週間を設定。</p> <p>■ 9月6日(土) 中学校体育祭小中交流活動として玉入れ競技に、幼児、小学生、保護者、地域住民が参加。</p> <p>■ 9月29日(月)～10月6日(月) 中学校の定期テストに合わせて、小中とも家庭学習強調週間を実施。</p>	<p>□ 10月上旬 人権カレンダーに載せる人権標語づくりをします。</p> <p>□ 10月25日(土) 中学校合唱コンクールに小学生を招いて鑑賞してもらいます。14:00～</p>
<p><b>中里中学校区</b></p> <p>統括；田沢小 関谷昭夫教頭</p>	<p>■ 9月11日(木) 生徒会による中学校説明会と中学校陸上部指導の合同練習に、田沢小、貝野小、倉俣小の5・6年生が参加しました。種目別に分かれ、中学校陸上部の指導で練習しました。小学生は、専門的・技術的な指導を受けることができました。</p>  <p>■ 9月12日(金) 小学校3・4年集合学習 ■ 9月30日(火) 小学校1年生集合学習</p>	<p>□ 10月2日(木) 午後、中里中で小学校5年生が部活体験をします。</p> <p>□ 10月31日(木) 6年生集合学習・部活体験</p> <p>□ 下旬ころ、小中一貫教育だより「なかさと②」を発行します。</p>
<p><b>松代中学校区</b></p> <p>統括；松代中 木澤淳教頭</p>	<p>■ 9月6日(土) 松代中学校体育祭で、小学生30名が中学生と一緒に「障害物レース」に参加しました。</p> <p>■ 小学校親善陸上大会に向けて、参加児童が中学校陸上部と合同練習を数回実施しました。</p>	<p>□ 10月1日(水) 中学校入学体験 □ 10月2日(木) 中学生による小学校の器楽演奏指導 15:40 □ 10月18日(土) 小学校文化祭に中学校吹奏楽部が出向き演奏 □ 10月23日(木) 中学校文化祭のリハーサルに小学生が参加し、合唱発表を参観 10:25～</p>
<p><b>松之山中学校区</b></p> <p>統括；松之山中 山崎孝幸教頭</p>	<p>■ 9月16日(火) 豊かな心部会で、『まつのやま あったか標語』の優秀作品の選定を行いました。 ※3ページで紹介しています。</p> <p>■ 9月19日(金) 第2回計画訪問で、小学校算数の授業を公開し、小中学校の教職員が参観し、協議を行いました。</p> 	<p>□ 10月7日(水) 学校保健委員会 13:30～15:10 松之山中 □ 10月8日(木) 音楽鑑賞教室 大阪フィルハーモニーの演奏会。 13:50～15:30 松之山小 □ 10月8日(木) 子育て講演会 19:00～休養村センター 講師；竹下和男 氏 演題「“弁当の日”で何が育つか」 □ 10月11日(土) 松之山ゆとり駅伝大会にチームを編成し、児童生徒・職員が参加します。 保護者・保育園児も参加します。</p>

□ 10月25日(土) 今年度初めて松之山体育館を会場に「小中合同文化祭」を行います。

※参加される場合や取組の詳細は、各中学校区統括コーディネーターにお問い合わせください。